

小笠山山頂までのモデルコース

①板沢コース (掛川駅から山頂まで約2時間30分)

掛川駅南口から南へ猿田池の上部に広がる茶畑の丘陵地を上板沢へ向かいます。掛川高瀬線の道路を渡ると『小笠山案内看板』がありますのでコースを確認して里山風景を楽しみながら歩きましょう。道標に注意して尾根を登って行きます。コース沿いは、春にはミツバツツジやヒカゲツツジなどが山を彩ります。このコースからは沢の侵蝕でできた深い谷の「六枚屏風」に行くこともできます。尾根を登りきり、主稜線に出て急坂を進めば樹林の中に頂上があります。

②久保コース (掛川駅から山頂まで約2時間30分)

掛川駅南口から西へ、『大須賀・富士見台公園方面』の道路標識がある交差点を南へとり、分岐の『小笠山案内看板』まで進んで、与左衛門池へ向かいます。林道沿いは、植生も豊かで野鳥が多く、流れる水音も心地よいところです。マスノ池を過ぎ林道を進み道標に従って尾根道に入ります。ウバメガシの群落を登りきり、主稜線を分岐に注意して進めば頂上があります。

③小笠山トンネルコース (富士見台公園駐車場から山頂まで約1時間30分)

富士見台公園駐車場から広い県道磐田掛川線を横切って15分ほど行き、小笠山トンネルを通り過ぎた右斜面から山に入ります。東西に延びる稜線を右に登ると道沿いに小笠山でもっとも見晴らしが良い展望台があります。天候に恵まれれば市街地の背後に南アルプスや富士山などを望むことができます。稜線をさらに進めば久保コースと合流して頂上に出ます。

④小笠池コース (小笠池駐車場から山頂まで約40分)

入山湖から入る小笠神社の表参道のこのコースは、道も整備されていて一般的によく知られた親しみのあるコースです。小笠神社展望広場からは小笠平野の向こうに掛川市南部の街と遠州灘の風景が広がっています。

⑤本谷コース (本谷から頂上まで約2時間)

本谷地区の北側の尾根は、なだらかで適度な起伏があり、ウバメガシやソコゴ、ヤマモモなどで覆われています。本谷公会堂南の茶畑(電柱NTT113が目印)の中の林道を進み、道標を小笠山方面へとり、尾根道に入ります。快適な道を進んで小笠山無線中継所で車道を渡り、笠原中継所を経て多聞天神社の鳥居とアカガシの大木がある分岐を進めばまもなく頂上です。





凡例	
	モデルコース
	一般ルート
	経験者コース
	街なかコース
	主な車道
	東名高速道路
	ルートに隣接する河川
	トイレ
	駐車場